

平成29年度行政評価 施策評価シート (平成28年度実績)

施策名 国際化の推進

施策コード 010401

1. 施策の担当	
主管課	市長公室 市民協働課
関係課	学校教育課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第1章 市民と協働し、すべてのひとが輝くまちづくり (自律・協働)	節 第4節 国際化
	施策	国際化の推進	

基本方針
 国際都市宣言 (H29年3月宣言) の精神に基づき、関西国際空港等をいかした市民の国際化の啓発と多文化共生社会の形成を進め、グローバル化の時代に対応できるまちづくりを推進します。

現況と課題
 ・本市では、「多文化共生」をキーワードに、国際交流団体が在住外国人向けの日本語教室の開催や国際理解のための講座など活発な活動をしています。
 ・本市の友好都市の中国上海市徐匯区とは1984年以來の交流実績があります。中国上海市宝山区とは1987年以來、オーストラリア・クイーンズランド州サンシャインコースト市とは2000年以來の交流実績があります。また、平成25年 (2013) 年にはモンゴル国トウブ県との間で友好交流に関する覚書を締結しました。また、中国成都市新都区、ウガンダ共和国グル市との交流も開始しました。今後、これらの関係をより発展させ、まちづくりにいかすことが望まれます。
 ・定住外国人が地域の中で共に暮らすことができるよう、生活に必要な情報を多言語で提供する必要があります。また、公共施設等の案内板への外国語表記をさらに進める必要があります。
 ・地域社会のグローバル化が進む中、在住外国人と日本人が共に地域に暮らす市民として、互いの文化や生活習慣を認め、尊重し、共存できる多文化共生社会を実現する必要性が高まっており、そのためには、行政と市民・国際交流団体が連携を深めて行動することが必要です。

施策目標
 対象 (誰を、何を、どこを)
 本市に在住する外国人、市民

意図 (どのような状態にしたいのか)
 日本人市民と同等の情報入手や機会均等を有し、地域の共同構成員として暮らしていくまちづくりを進めます。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	45.6	45.6	45.6	45.6	45.6		
重要度 (偏差値)	45.6	45.6	45.6	45.6	45.6		

4. 施策にかかるコスト							
コストの内訳	人件費	千円	H27決算	H28決算			
	事業費		12,802	15,853			
	フルコスト		16,027	17,769			
財源の内訳	フルコスト	千円	28,829	33,622			
	国庫支出金		0	0			
	府支出金		0	0			
	市債		0	0			
	その他		5,369	5,264			
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		23,460	28,358			
一般財源2 (=直接事業費-特定財源)	10,658	12,505					

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		国際交流イベント年間開催数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	11.0
実績値	10.0	10.0	10.0	9.0	11.0		
達成度	90.91	90.91	90.91	81.82	100.0		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
国際交流イベントの開催を充実させることにより、本市の国際交流活動が活発に行なわれているかが把握できます。	最終的には、12回（毎月）の開催を目標値とするが、平成23年度までは、その中間値として10回（概ね毎月）とした。	事業の実施委託先である、地球交流協会が計画どおり、事業を実施した。

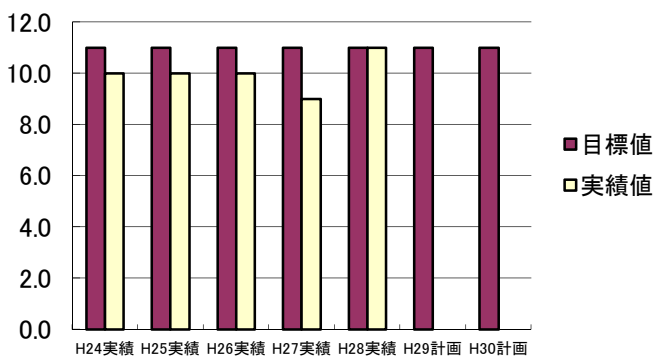
② 成果指標2		日本語教室授業実施の年間回数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	1,660.0	1,670.0	1,680.0	1,690.0	1,700.0	1,710.0	1,720.0
実績値	1,291.0	1,415.0	1,404.0	1,509.0	1,732.0		
達成度	77.77	84.73	83.57	89.29	101.88		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
この数字から、在住外国人の日本語学習に対するニーズ、ボランティア指導者の活動状況が把握できます。	平成22年度より開催回数の増による目標値に見直しを行い、さらに平成24年度実績をベースに毎年10回増に目標設定の見直しを行った。	受講者は、随時、増減する。最近の傾向として、航空関係など、関空で就業する人やその家族の受講が増加している。

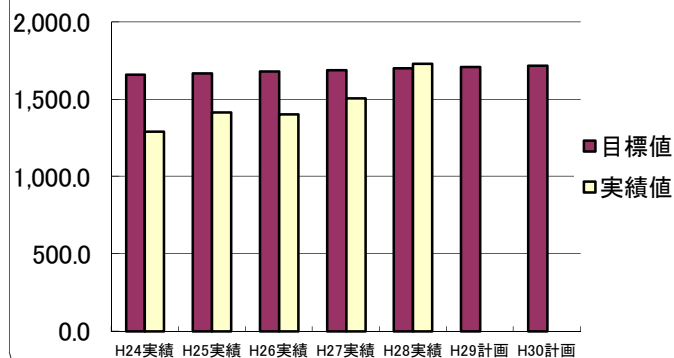
③ 成果指標3		国際交流イベント年間参加者数					
項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29計画	H30計画
目標値	1,650.0	1,660.0	1,680.0	1,710.0	1,740.0	1,770.0	1,800.0
実績値	1,727.0	1,422.0	1,392.0	1,495.0	1,141.0		
達成度	104.67	85.66	82.86	87.43	65.57		

指標設定の根拠	目指そう値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
国際交流イベント参加者数をふやしていくことにより、市民及び市内在住外国人の国際交流活動への関心の度合いが把握できます。	平成23年度実績をベースに平成24年度以降、毎年10~30人増の目標設定へ見直しを行った。	今回、屋外でのイベントが都合により、屋内イベントに切り替わったため、来場者数が、減少した。

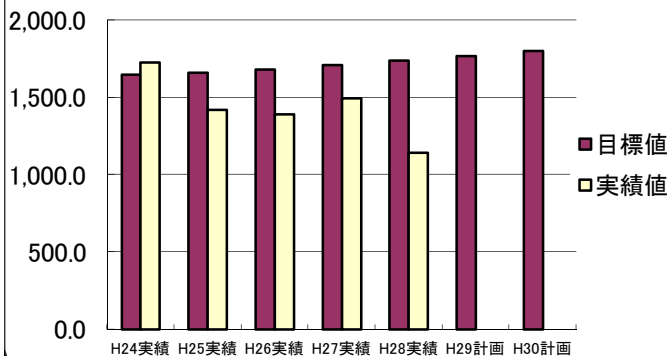
成果指標①



成果指標②



成果指標③



図表

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	今まで、屋外で実施していたイベントを都合により、屋内で実施したため、参加者数が減少した。今後も国際交流イベント内容の充実などにより、目標の達成に向け努める。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	今後、市民のニーズを的確に把握し、その満足度をあげるため事業の内容を充実させるように努める。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	関西国際空港の玄関都市である本市は、地域活性化総合特区の指定などにより今後国際医療交流拠点としてまちづくりを進めていくなど、さらなる国際化が見込まれるなか、本市の国際化を担う人材の育成が急がれている。
	合計点	(10点中) 7点	
総合評価	B	関空での来日外国人が増加する中、本施策に対する潜在的なニーズは十分にあると考える。	
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)	B	引き続き目標値の達成に努めること。	
三次評価 (理事者による評価)	B	引き続き目標値の達成に努めること。 在住外国人の増加に伴い、交流事業の工夫・PRが必要である。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	H28年度決算額			H29年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01083040	国際交流推進事業 (市民協働課)	8,105	8,863	5,599	13,463	B
2	01083100	国際交流推進事業 (学校教育課)	3,874	2,043	2,043	2,823	B
3	01083110	海外派遣 (青少年海外研修) 事業	3,874	6,863	4,863	7,819	B
合計			15,853	17,769	12,505	24,105	